

## 令和5年度 信学会上田幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

「あかるい あいさつをしよう」「げんきに なかよく あそぼう」「からだいっぱい たのしもう」

### 2. 本年度の重点目標

子どもの感性や表現力を育てる、楽しみながら体力づくりをする、ことばの力を伸ばす

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

### 4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・園児一人ひとりの名前を呼ぶ、同じ目線で話す、園児の考えをよく聞くなど、職員のかかわりが少人数園のよさであり、それが入園理由につながっている。
- ・運動会の種目実施について、様々な考えがある。子どもたちの主体性を大切にしつつ、保護者の考えを聞くことも大切にしてほしい。
- ・モニター会で、幼稚園の子どもたちが小学校に上がってからどう育っているのか、小中連携はどうあったらよいかなどについて意見交換できるので貴重な機会である。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・安心安全な環境や生活を確保する取組や、園公開やホームページなどを通じての情報提供が充実した。
- ・園の運営や目標実現に対して、職員が同僚性を発揮して組織として対応しようとした。また、自己の保育力向上のために、研修や日々の振り返りを大切にしてきた。
- ・園の教育目標や重点活動への取組について、更に教職員間の共通理解を図ることが必要である。
- ・教職員の力量向上のための研修や自己課題解決の取組について、研修内容を見直しながらニーズにあった実践をしていく必要がある。
- ・園児の実態や保護者の願い、地域の特色などを踏まえて、上田幼稚園としての特色ある教育・保育を模索し、少人数の良さを生かしていく。